

さいたま市立大宮北中学校

学校だより 10月号

令和4年9月30日(金)

048(641)1214

048(641)6680(さわやか相談室)

<http://omiyakita-j.saitama-city.ed.jp/>



学校教育目標

『人間性豊かな
実践力のある生徒』
たしかな学力
ゆたかな心情
たくましい身体

文化祭を終えて思うこと

校長 とみた ひでお 富田 英雄

このところ、夜になると鈴虫の音色に癒され、肌に心地よいさわやかな風が吹き、秋を感じる季節となりました。感染症対策を行いながらではありますが、芸術の秋、読書の秋、スポーツの秋など、楽しみたいものです。

さて、9月17日(土)に文化祭が開催されました。昨年度はオンライン開催でしたが、今年度は、感染状況が減少傾向であったこともあり、体育館で実施しました。ステージ発表では、「青少年主張」と題して2年生の3名の代表生徒が、それぞれ「ユニバーサルデザイン」、「盲導犬」、「パラリンピック」をテーマに、授業(総合的な学習の時間)で調査した内容を踏まえ、パワーポイント資料を交えながら、自分の考えをわかりやすく発表してくれました。また、さいたま市英語弁論大会地区大会に出場した5名の生徒は流暢な英語を披露してくれました。有志発表では、ショパンの楽曲のピアノ独奏、三味線の独奏(津軽じょんがら節など)があり、美しい音色に会場全体が引き込まれました。さらに、歌の披露(曲目「群青」)や3年男子、女子の2(ふた)組のユニットによるダンスパフォーマンスでは、手拍子とともに生徒は大いに盛り上がりました。そして、吹奏楽部が、県吹奏楽コンクール地区大会金賞の腕前を披露し、ステージ発表を締めくくってくれました。一方、展示発表では、現在も校内の至るところに、美術部や美術の授業の作品、硬筆展などの入選作品が展示されていますが、どれも素晴らしい作品ばかりでした。

文化祭を通して感じたことですが、ステージ発表に出演した生徒は、堂々とした態度で、そして楽しんで演技をしてくれました。また、会場内の生徒も、演技を真剣に見たり、一緒に盛り上がったりと、楽しいひと時を過ごしました。コロナ禍にあつて、ここ数年、学校行事の中止や延期、規模を縮小しての実施が続きましたが、うれしそうな生徒の様子をみると、学校行事の必要性を再認識した次第です。また、今回の文化祭では、様々な分野の発表や展示がありましたが、生徒のもつ特性や興味・関心は多様です。一人ひとりがそれぞれの個性をもち、よさや可能性をもっています。そのよさや可能性を引き出すため、授業や学びの場づくり、学校行事などを含め、教育活動の工夫・改善を図っていく必要があると、再認識させられた次第です。

さいたま市コミュニティ・スクール 横断幕について

さいたま市では、令和4年度より全ての市立学校においてコミュニティ・スクール(学校運営協議会を設置した学校)がスタートしています。そこで、学校・家庭・地域が一体となりコミュニティ・スクールの推進することを目的とし、9月から市内各学校に横断幕を掲示しています。横断幕に掲載されたフレーズは、市内各学校の学校運営協議会から応募された作品の中から選ばれたものです。本校では、正門横のフェンスに掲示しましたので、御承知ください。

横断幕フレーズ **子どもの未来、地域の未来をつくる「さいたま市コミュニティ・スクール」**

